

第3回三重県循環器病対策推進協議会 社会連携・リハビリ部会 議事概要

- 1 日 時：令和4年1月26日（水）19:00 ~ 20:00
- 2 場 所：WEB会議
- 3 出席者：石田委員、奥田委員、高桑委員、島田委員、園田委員、
田中委員、福森委員、松尾委員、三木委員、水谷委員、
南出委員、百崎委員、森委員、柳川委員、山田委員
- 4 議 題：(1) 三重県循環器病対策推進計画（最終案）について
(2) 第7次三重県医療計画脳卒中对策、心筋梗塞等の心血管
疾患対策の進捗状況について
(3) その他

5 審議概要：

1 (1) 三重県循環器病対策推進計画（最終案）について（資料1）

（委員）

26 ページのリハビリテーション等の取組の3項目のところ、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門医療スタッフとある。一方、27 ページでは、循環器病患者が継続的にリハビリテーションを実施するためには専門家も育成する必要があると記載されているが、この専門家は何を意味するのか。

次に29 ページ、取り組むべき施策のコメディカルの育成のところ、このコメディカルというのはどこまでを示しているのかを記載した方がよいと思うが、いかがか。

（事務局）

リハビリテーションを中心した記述であるので、専門家とは、リハビリテーションに関わる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士はもちろんのこと、看護師、その他の専門職の方も含めて幅広く考えている。2点目のコメディカルについては、分かりづらいということなので、書きぶりについては検討したいと思う。

（委員）

NDBデータやDPCデータ等を活用し、と記載いただいている。前回、自治体にあるデータを有効活用したらどうかと意見をしたので、それを受けてこのように記載されたと思うが、厚生労働省のデータをイメージしているのか。厚生

労働省のデータの活用はハードルが高いので、三重県が持つレセプトデータ等を連結させて施策に活用するという意図での発言であったが。

（事務局）

NDBデータの活用については、次期計画や第8次医療計画で、ロジックモデルとしてどう入れるかについて、厚生労働科学研究のグループが来年度から作業を始めることになっていることから、今後、国からデータが示されて、各都道府県におりてくるであろうということは理解している。

また、三重県内における地域のデータをどのように使っていくのかという部分については、昨日の心疾患対策部会でも意見があった。国全体の指標として活用しつつ、ローカルな課題をどのように数値で拾っていくのかという議論が必要だと思う。

（委員）

特定健康診査受診率は上がっているが、コロナ禍以前のデータである。コロナ禍におけるリハビリに関して、何かこうしたことを行った方よいと入れた方がいいのではないかと感じる。

（事務局）

最新のデータが令和元年で、コロナ禍以前をデータ起点にしている。コロナをふまえてどうするか、なかなか一足とびには難しい。現状のデータを拾っている段階で、例えば、心臓リハビリの回数が診療控えでどうなっているのか、疾病にどのぐらいの影響を及ぼしているのか、この点については、厚生労働省も各グループで検討している最中である。このため、次の計画の段階で、やっと指標が落ちてくるのではないかと考えている。

一方、現状の認識で、こんなことが起きているということが具体的にあれば、どんどん上げていただきたい。今既にこういう問題が起きていて、この延長線上にはないよと指摘されたこともある。ぜひ活発に問題提起いただき、最終案に向けてというわけではないかもしれないが、今後に向けては大事なポイントであるので、忌憚のない意見をいただきたいと思う。

（事務局）

43 ページの進捗管理において、受診控えなどを加味して総合的な検討を行う必要があることに留意しつつと記載のあるとおり、PDCAを回す中で、協議会、部会で協議いただきながら検討していきたいと考えている。

(事務局)

分かりやすく拾えるいい指標があれば教えていただきたい。

(委員)

廃用症候群でのリハビリ入院率があると思う。

1(2)第7次三重県医療計画脳卒中対策、心筋梗塞等の心血管疾患対策の進捗状況について(資料2)

(委員)

資料2の脳卒中対策の評価表の項目、取組方向3について在宅における効果的とあるが、歯科の設置されていない病院を追加いただきたい。

(事務局)

盛り込む方向で考えさせていただきたい。

(委員)

受入困難事例の割合は、目標がすでに達成されている。がんばっているというアピールが必要ではないか。

(事務局)

救急に関わる消防関係者、医療関係者はもとより一般の方も含めて、認識を持ってしっかり取り組んでいただいているからこそその結果だと感じている。

(委員)

資料2の2ページ、ケアマネージャーや介護職種等という表現がある一方で、介護支援専門員という言葉があるので文言の統一をお願いしたい。それから、別冊の33ページ、三重県の介護福祉士・介護支援専門員の登録者数のグラフであるが、累計に意味があるのかと考えている。介護支援専門員は年々減っているの、分かりやすいようにしてほしい。

2 その他(参考資料)

(委員)

この説明に絡めて、社会連携・リハビリ部会として協力できることはあるか。

(事務局)

循環病特別対策事業の部分で普及啓発資材の作成という部分である。この部

会ではかなり熱心に啓発についてご議論をいただいたかと思う。具体的には、パンフレットを県民の方にお届けしたいと考えていて、令和4年度になると思うが、皆様の情報や、例えば現場の写真のご提供など、具体的な協力をお願いすることを検討している。

（事務局）

8ページの循環器病総合支援センターについては、都道府県の推薦でモデル事業に提案していくことになるので、チャンスがあれば申し込んでいきたいと思っている。各部会が連携して進めていければと考えているので、お願いしたい。